

施政並びに予算編成方針に対する質疑

町長の施政方針・予算編成に対し、2名の議員が質疑を行いました。その概要を質問者がまとめ報告します。

子ども医療費無料化の

年齢拡大を早急に

できるだけ早急に実施する



とりいぶんてん
鳥井文典 議員

問 無料化は、現在は小学校就学前までであるが小6まで、また中3まで拡大した場合、新たに生じる町の財政負担は。
答 小学卒業までは5千万円、中学卒業までならさらに2千万円必要だ。
問 22年度予算に拡大が示されると思っていた。なぜ示されなかったのか。
答 保育所持機児童の解消事業や子ども手当経費など喫緊の課題に対応するべく予算編成した。

問 早期に拡大すべきだ。
答 できるだけ早急に実施する。
問 ひとり親家庭等医療費助成制度においても窓口払い廃止を早急に。
答 乳幼児医療費無料化拡大の時に導入したい。
栄地区の
水害対策は
問 治水対策として、南部大公



子ども医療費の
年齢拡大を早急に

園に、流域貯留浸透施設が整備されるとの事、内容は。
答 用水流出の抑制、下流域の洪水負担の軽減が目的。グラウンド面を20cm掘り下げ貯留機能を確保する。22年度内完成予定。

問 綾瀬川の改修や除草清掃等をまめに行い、保水力を高め、治水対策を。
答 県に要請しスムーズな流れを維持すべく対応する。

いまこそ、医療費助成制度の

年齢拡大を

できるだけ早期に実施したい

おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

予算編成にあたって
問 町内の景気、雇用情勢、住民のくらしの実態をどのようにとらえ、それらをどう予算編成に活かしたか。
答 町内の雇用情勢の厳しさ、町民の生活実態の厳しさについては、ひしひしと実感している。
問 子ども手当の評価と町の負担。
答 未来志向の政策である。財源について地方負担を残した点は遺憾。

保育所持機児童の解消を
問 民間保育所の参入予定は。
答 内宿駅西側に定員60名、役場東側に定員90名、丸山駅付近に定員90名、それぞれ社会福祉法人が来年4月に設置を予定している。



北保育所

不況のもとで
問 独自の新たな景気、雇用対策を。
答 国の地域活性化交付金や緊急雇用対策の補助金を活用した事業を実施する。
問 正規保育士と同様の仕事をする臨時保育士に上尾市のような昇給制度の導入や時給単価の引き上げを。
答 現在は考えていない。